

TANJA FARM

INTRODUCTION



About

タンジャ農園はタンザニア北部の世界遺産ンゴロンゴロ保全地域の外輪山に位置する農園です。ンゴロンゴロとはスワヒリ語で「大きな穴」という意味で、約300万年前に火山が大規模な噴火を起こしてできた世界最大の火山クレーターです。保全地域内ではゾウやライオンをはじめとする多様な野生動物が見られ、まるで天然の動物園。

タンザニアのコーヒーといえば、キリマンジャロが有名ですが、ンゴロンゴロも最高品質のコーヒーの生産地域として、世界的に知られるようになりました。タンジャ農園は100年以上の歴史を持ち、ミネラル豊富な土壌と標高の高さが生み出す、独特で複雑なアロマと良質な酸味を特徴とするスペシャルティコーヒーを生産しています。2023年よりAAIC社がオーナーとなり、現地ワーカーに収穫や加工の技術指導を行い、より良質なコーヒーの生産を目指しています。

日本人スタッフと新しい試み

タンジャ農園では3人の日本人スタッフが常駐し、日々試行錯誤しながら、コーヒー生産が行われています。特に力をいれているのが、スマート農業部門です。農園の細かい区画ごとの収量をデータ化し分析を行っています。今後の目標として衛星画像による管理を行うことを掲げています。精選方法の95%はFully washedであり、アナエロビック精選も試験的に導入を開始しました。



【基本情報】

タンジャ農園

アルーシャ州ンゴロンゴロ

面積：約1760ha

栽培面積：約270ha

※3つの農場の合計

標高：1400-1800m

